

HIBIYA 92nd MAYDAY

働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう



- ★福島原発事故を忘れない! 原発ゼロ社会・復興の実現を!
- ★コロナ解雇を許すな! 雇用の継続と休業・生活補償の充実を!
- ★9条改憲反対! 辺野古新基地建設阻止! 菅政権は退陣を!
- ★なくせ貧困・格差・差別、8時間働けば暮らせる社会を!

日時 5月1日(土) 開会 10:00 開場 9:00 デモ 11:15 **会場** 日比谷野外音楽堂 (JR有楽町線、都営三田線内幸町、地下鉄千代田線 日比谷駅、丸の内線有楽町駅、日比谷公園内) **主催** 第92回日比谷メーデー実行委員会 (東京港区高輪4-217 つるやビル2F TEL:03-5423-1950 FAX:03-5423-1952)

第92回日比谷メーデーへの呼びかけ

第92回日比谷メーデー代表呼びかけ人
鎌田 博一 (国 労 東 京 委 員 長)
平賀雄次郎 (中小民間労組懇談会代表)
中岡 基明 (21 けんり春闘事務局長)
渡邊 洋 (全 労 協 議 長)
大森 進 (東 京 全 労 協 議 長)

働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう！

- ★福島原発事故を忘れない！ 原発ゼロ社会・復興の実現を！
- ★コロナ解雇を許すな！ 雇用の継続と休業・生活補償の充実を！
- ★9条改憲反対！ 辺野古新基地建設阻止！ 菅政権は退陣を！
- ★なくせ貧困・格差・差別、8時間働けば暮らせる社会を！

21 春闘を闘う、すべての働く仲間のみなさん！

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から 10 年が経過しました。震災からの復興は進んでいますが、原発事故の収束はいまだ見通すことすらできず、多くの人々が故郷を奪われたまま厳しい避難生活を余儀なくされています。2020 オリンピック・パラリンピックの開催を政治利用する菅政権は、原発事故の収束を世界に向けてアピールし、「復興」を謳いながら被災者への補償の打ち切り、原発事故を風化させようとしています。菅政権は「脱炭素社会」を実現することを宣言し、原子力政策を推進することを明らかにしています。私たちは、原発事故の教訓を生かさず原発を再稼働しようとする攻撃に抗し東電や政府の責任を追及し、残された様々な課題の解決に向け、現地との連帯を深めていかなければなりません。

私たちは今、これまで経験をしたことのない現実の中での生活を余儀なくされています。新型コロナウイルス感染症が拡大・蔓延する中において、日本国内での未知の感染症に対する恐怖と対応の遅れ、全世界に感染が急速に広がりそれを防ぐために各国が国家間をはじめとした人の移動の禁止、市中への外出禁止やロックダウンにより経済が停滞し、世界経済の先行きは急速に不透明感を増しました。そうした中、経営側は将来に渡って人件費を膨らませるベアに消極的になり、大手企業や一部大企業労働組合が「賃上げ」よりも「雇用」を優先するなど、コロナ禍における労働者の生活保障は置き去りにされています。大手の春闘が縮小する中、中小労組の賃金をはじめとした労働条件改善の闘いに大きな影響を及ぼします。いまこそ、21 春闘を労働者総体の闘いとして、生活と権利を守りぬき生き生きと生活できる社会を実現するため、春闘からメーデーへと繋げていくことが大切です。コロナ禍を利用して時間と場所にとらわれない働き方、雇用によらない労働と使用者責任を放棄した偽装請負、労働する権利をも奪い取られ「格差と貧困」の更なる拡大など、労働者の犠牲の上に資本の延命を求めています。

春闘は、労働者総体の賃金・労働条件の底上げを勝ち取る闘いです。私たちは、春闘を「総労働と総資本の闘いの場」として再生し、賃上げはもとより、労働者の権利破壊、企業の不法・脱法行為、貧困・格差の拡大と対決し、非正規労働者の均等待遇・権利拡大を目指して、ストライキを武器にした大衆闘争で闘っていきます。

私たちは、このような中で、自己責任、自助努力を強制する菅政権、企業利益優先の社会、民族排外主義と差別を煽る勢力の拡大と動きに反対し、ミャンマー軍事クーデターによる民主主義の破壊、香港の民主化運動圧殺などと闘う世界中の人々と共に、国際連帯で闘っていかなければなりません。また、未組織労働者・非正規労働者・外国人労働者の低賃金と労働条件の改善、労働者の生活と権利を守る闘いを進めます。同時に、総がかり行動に結集する多くの人々と連帯し、今こそ、震災復興、脱原発、集団的自衛権行使阻止、辺野古新基地建設反対、戦争法廃止、共謀罪廃止、憲法改悪反対、平和と民主主義擁護を掲げ、労働組合への弾圧を跳ね除け全ての労働者市民、そして戦争に反対する全世界の人々と手をつなぎ、共に闘っていきましょう。

私たちは、メーデーを『闘いの広場』として位置付け、統一メーデーの実現を求める立場を改めて確認し、すべての働く仲間と平和と民主主義、ひとり一人の人権が尊重され社会を創造する人々に対し、5月1日に開催する第92回日比谷メーデーへの参加を呼びかけます。

2021年 3月29日